

2017年度第1回キャリアパス講演会・懇談会

下記の通り、2017年度第2回キャリアパス講演会・懇談会を開催致します。南極越冬や衛星データ解析に重点を置いた研究活動を継続して素晴らしいキャリアパスを形成された講師の先生の講演を聞き、懇談して頂きます。学部1年生から大学院生まで、ぜひご参加ください。 **入退室は自由です！！**

日時：2017年10月17日(火) 16:10～

会場：立正大学熊谷キャンパス・A301教室

講師：神沢 博 氏 (名古屋大学大学院環境学研究科教授，前研究科長)

演題：大気力学から地球環境に関わる大気科学までとその周辺：私になしてきたいくばくかの仕事とそれにかかわるようになった経緯

趣旨：講演では、以下の経歴に記す仕事にかかわるようになった経緯を述べる。

1953年1月、群馬県前橋市に出生。1972年4月、京都大学理学部に入学。大学3回生の頃から気象学の勉強を開始。1976年4月に京都大学大学院理学研究科(地球物理学専攻)に入学し、1981年6月に退学。1984年3月、波と平均流の相互作用の研究で理学博士。

1981年7月、28歳で文部省国立極地研究所の助手に採用。1984年11月～1986年3月、南極地域観測隊員として昭和基地にて越冬。1987年9月～11月、文部省在外研究員として米国ワシントン大学大気科学部に滞在。オゾンホールの研究などを実施。

1993年10月、40歳で環境庁国立環境研究所に、地球環境研究センター・研究管理官として異動。人工衛星搭載の高緯度オゾン層観測センサーILASの研究プロジェクトに参加。1998年4月、大気圏環境部大気物理研究室長。気候モデルによる地球温暖化研究プロジェクトのマネジメントを実施。

2003年4月、50歳で名古屋大学教授として異動。大学院環境学研究科・地球環境科学専攻・気候科学講座担当。地球環境問題にかかわる大気科学のさまざまな課題に焦点をあてた研究を学生とともに実施。2012年7月～2015年3月、日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員。2015年4月から2年間、環境学研究科長。

